

平安時代にタイムスリップ！

浮嶋稻荷神社例大祭
(5月5日；大沼地内)

特 集／朝日町定住促進ビジョン

町政スポット／町議会議員選挙、春季消防演習、春季区長会定例会
まちの話題／豊龍神社祭礼、和合アップルライン入口に花壇整備
八ツ沼区植樹祭、旧上郷小で「ノアの方舟展」ほか



広報

あさひまち

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。

2007年5月号
No. 606

「ずっと住み続けたい、ここに住んでみたい、そんな朝日町に」

テーマは 育・職・住・アクセス

定住対策の推進に あたって



朝日町の人口は、宮宿町、西五百川村、大谷村による1町2村の合併直後である昭和30年の1万7100人をピークに減少を続け、平成19年4月1日現在では約半数の8592人となっています（図1）。

町としても、そういう状況を改善するため、平成5年から住宅団地の造成や町営賃貸住宅みどりハイツの建設など各種事業に着手しました。しかし、未だ人口の減少に歯止めがかかりていません。

このような現実を踏まえ、町では平成18年度に、「定住対策推進プロジェクト」を立ち上げ、現状の分析と具体的な対策を半年間検討し、

「朝日町定住促進ビジョン」を策定しました。

この現状分析の結果、近年の人口減少の主な要因は「自然減（※1）よりも社会減（※2）」さらに、

「社会減の中でも特に20歳～40歳代の子育て世代の転出が多い」という

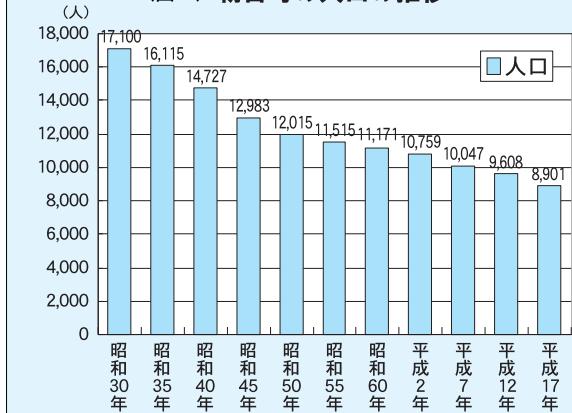
結果でした。このことから定住対策の対象を重点化し、この世代が今後も住み続けたくなる施策を開発することとしました。

具体的には、今回の施策の柱として子育て対策、職業（産業）対策、住宅対策、そして交通対策の4つを掲げました。

※用語の解説

- 社会減**：転出者数から転入者数を差し引いた数

（図1）朝日町の人口の推移



育 子育てしやすい環境をつくります

▼子育て支援を充実します
・第2子（3歳以上）以降の保育料を月5000円に定額化

これまで、保育料は両親等の所得によって算定されてきたため、年齢の近い園児がいる家庭では多大な負担となっていました。
少しでも保護者の経済的負担を緩和し、産みやすく育てやすい環境を作るために、第2子以降の保育料を月5000円に定額化します。

▼子育て支援を充実します

図書館に、子育てに関する図書や情報本报讯する特別コーナーを設けます。
・ブックスタート（読み聞かせによる親子ふれあい事業）の実施
絵本によって赤ちゃんと保護者がゆっくりと向き合い、親子が心のふれあいを持つきっかけ作りをするブックスタート事業を実施します。

・朝日町版職場体験学習の実施

地域や事業所に対する理解を深め、異世代とのコミュニケーション能力や社会生活上のルールを体得することなどを目的に、5日間の朝日中職場体験学習を実施します。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加など課題が山積しています。今後、町の基幹産業としての農業を維持発展させ農家所得を向上させるために、先進的な新技術導入等町農業振興のモデルとなる取組に対し支援を行ないます。

▼みんながチャレンジできる環境整備を図ります

・新事業経営安定対策事業の実施

町民が地域資源を生かして、新たな事業を行う時や経営の多角化を行う場合に奨励金（無利子）を貸し出し、がんばる人を応援します。

貸出の際に審査がありますが、貸出期間終了時に順調に事業を継続すれば奨励金の返済は免除されます。

▼交流促進による活力アップを図ります

・モデル事業の実施

朝日町の良さを多くの方に知つていただき、交流・誘客を増やすのが目的です。今年度は町内の受け入れ態勢を整え、仙台を中心にPRを行なっています。また、自然観を活用した交流モデル事業を実施します。

職 しごと環境を充実します

▼農業経営の安定を図ります

・農家提案型交付金事業の創設

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加など課題が山積しています。

今後、町の基幹産業としての農業を維持発展させ農家所得を向上させるために、先進的な新技術導入等町農業振興のモデルとなる取組に対し支援を行ないます。

▼みんながチャレンジできる環境整備を図ります

・町営アパートの整備

当町には民間企業や個人が経営するアパートがありません。そのため、結婚などで新しく所帯を持った場合、マイホームの購入や、家族との同居以外で町内に居住し続けることは難しい状況にあります。実際、この要因による転出が近年多くなっており、また既存の町営のアパートは常に空きがない状況です。

そこで、若者の流出を少しでも食い止めるため、今年度町営のアパートを10世帯分整備するほか、雇用促進住宅を取得し、これまで入居に制限のあったものを制限なしで入居できる環境を整えます。

さらに、現在分譲中の住宅団地も残りわずか（新宿3区画、栗木沢4区画）になつてきましたことから、今後新たに住宅団地の造成を行なっていく予定です。

住 若者が住みやすい住環境をつくります

▼子育て世代・若者に魅力ある住まいを提供します

・町営アパートの整備

当町には民間企業や個人が経営するアパートがありません。そのため、結婚などで新しく所帯を持った場合、マイホームの購入や、家族との同居以外で町内に居住し続けることは難しい状況にあります。実際、この要因による転出が近年多くなっており、また既存の町営のアパートは常に空きがない状況です。

そこで、若者の流出を少しでも食い止めるため、今年度町営のアパートを10世帯分整備するほか、雇用促進住宅を取得し、これまで入居に制限のあったものを制限なしで入居できる環境を整えます。

▼県都山形市への交通網を改善します

・山形市への直行バスの運行（検討）

山形市へ通学する高校生などを主な対象として、山形市への直行バスの運行を検討しています。今後利用者を対象としたアンケート（需要調査）を実施します。ご協力をお願いします。

アク カセ 高校通学を便利にします

▼通学に困らない交通手段を確保します

・バス定期券に対する補助

朝日町に住んでいる人々にとって大きな悩みの一つが交通事情です。特にそのことを実感するのは高校生を持つ親ではないでしょうか。これまで割高なため敬遠しがちだったバス定期券の購入に対して5割の補助（左沢駅までの区間に限る）を行なうほか、山交バスと連携して増便を行ないます。

ほか、山交バスと連携して増便を行なう、利用しやすい仕組みづくりを行ないます。



通学のためバスを待つ高校生

朝日町議会議員選挙

副議長 村山白田金次郎七郎氏

投票率 86.20%

12人の新議員決まる

4月17日に告示され、22日に投票された朝日町議会議員選挙は、今回から定数が4減の12に対し14人が立候補。激しい選挙戦の末、右下の結果となりました。投票率は86.20%。過去最低だった前回の投票率(89.17%)をさらに下回る結果となりました。

開票の結果を受け、同日に当選証書が授与され、5月2日の初議会で議長に白田金次郎氏、副議長に村山七郎氏が選出されました。

なお、当選議員の所属委員会等は以下のとおりです。(年齢は告示日時点のものです。また、○数字は当選回数を表します。)



総務文教常任委員長

鈴木光一
(大隅 49歳 ②)



副議長(産業厚生・議会広報)

村山七郎
(栄町 64歳 ②)



議長(総務文教)

白田金次郎
(大谷六 70歳 ③)



議会運営委員長(産業厚生常任副委員長)

長岡裕二
(沼向 46歳 ②)



議会広報常任委員長(産業厚生)

岡崎吉博
(水本 58歳 ②)



産業厚生常任委員長(議会広報)

海野義弘
(能中 59歳 ③)



議会運営副委員長(産業厚生)

安藤茂雄
(松原 56歳 ②)



議会広報常任副委員長(総務文教)

鈴木義昭
(大暮山 54歳 ①)



総務文教常任副委員長

長岡啓二
(常盤 59歳 ②)



総務文教常任委員

渡邊薰
(古檍 57歳 ②)



産業厚生常任委員(議会広報)

長岡睦
(松程 50歳 ①)



総務文教常任委員

小関崇夫
(栄町 66歳 ②)

得票順位	候補者氏名	党派	新現元別	得票数
1	白田金次郎	無	現	809,000
2	長岡啓二	無	現	587,690
3	鈴木光一	公	現	525,073
4	村山七郎	無	現	484,000
5	小関崇夫	共	現	468,000
6	長岡裕二	無	現	460,540
7	鈴木義昭	無	新	452,926
8	海野義弘	自	現	400,798
9	長岡睦	無	新	356,418
10	渡邊薰	無	現	321,000
11	安藤茂雄	無	現	321,000
12	岡崎吉博	無	現	315,201
13	柴田喜久雄	無	現	307,000
14	長岡日出夫	無	現	298,350



進む開票作業

そこに、その場に居るだけで、熱きエネルギーが感じられてくる。「若さ」とは、存在そのものが活力であり、希望である。若き血潮は、脈々たる流動と共に、周りの空気をもむせる熱風に変えていく。

「アツトホーム」と名入りのハツピを着た若者たちが十五名ほど、五月三日の宮宿・豊龍祭りに参加して祭りの盛り上げに一役買つていただ

いた。大神楽、囃子隊の後につき、オリジナリの振り付けで三時間かけ町中を踊りまわった。今年で二年目。自ら考え行動する、こうした若者の取り組みが、活力ある町に変える大きな力となつていいくに違いないと感じられたのは、私だけではなかつたのではないだろうか。

人間の細胞は六十兆。その細胞は絶えず入れ替わっている。肌の細胞は二十八日で入れ替わり、最も期間を要する骨の細胞で九十日。六十兆

の人の細胞は、九十日ですべて入れ替わってしまう。

社会にしても同じ。小学生はいつまでも小学生ではなく、中学生はいつまでも中学生ではない。六年経てば全ての小学生は入れ替わり、三年経てば全ての中学生は入れ替わる。

そのように、時の流れと共に確実に社会は変化し、世界は進化していく。いつまでも同じ人間がその社会を構成しているのではない。絶えず新陳代謝を繰り返し、とどまるこ

なく変化している。
その意味で若者の責務は極めて重
代い。自ら考えようが考えまいが、次
代を築いていくのは若者なのである。
その若さと情熱は、ただあるのでは
ない。社会を、そして世界を築くた
めにあるのだ。
若者の「やる気」と「情熱」が、
世界をつくり変えていく。それが
「若者の力」ではないだろうか。

合併処理浄化槽設置を支援します

生活排水等の浄化対策として、住民のみなさんのご理解を得ながら、これまで1114基の合併処理浄化槽が設置されました。その結果、平成19年3月末日現在での町全体の水洗化率は62.0%となりました。平成19年度についても、住民のみなさんに設置を呼びかけ、さらなる生活環境の向上を目指していきます。

なお、支援内容については次のとおりです。

役場建設水道課管理係 67-2115

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 設置補助金 | は18歳以下の扶養者が1名以上の世帯 |
| ・ 5人槽 550,000円 | ②転入者奨励金 200,000円 |
| ・ 7人槽 680,000円 | 合併処理浄化槽を設置した年度において転入した世帯 |
| ・ 10人槽 950,000円 | |
| | など |
| 2. 合併浄化槽切替補助金 | 5. 放流管原材料支給 |
| (単独処理→合併処理) | 放流管(口径100mm、塩ビ薄肉管)が10mを超えた部分に1m当たり400円を支給 |
| 1基当たり50,000円を加算 | |
| 3. 放流ポンプ槽設置補助金 | 6. 利子補給(H19限り) |
| 補助金額は基準額の4／5 | 1世帯100万円まで、償還期間60ヶ月以内の融資に係る3%までの利子を町が負担 |
| 4. 奨励金 | |
| ①若者定住奨励金 50,000円 | |
| 合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、また | |

法定検査を受けましょう

浄化槽の維持管理が適正に行なわれ、浄化槽の機能がきちんと確保されているかを確認するのが「法定検査」です。「法定検査」には浄化槽使用開始後3ヶ月～8ヶ月以内に水質の状態を確認する検査(検査料8,000円)と、「保守点検」や「清掃」がきちんと行なわれているかを確認する年に1回の検査(検査料5,000円)があります。どちらも法律で定められた検査ですので、関係機関から連絡があった場合には忘れずに受けましょう。



薬剤師
長岡
佐知

職員人事

五月一日付採用

■ 知的障害者相談員
長岡ふき（西町）
☎ 67-3560

■身体障害者相談員

ご利用ください各種相談員

守ります！町民の生命と財産！

春季消防演習

平成19年度体制

団長

柴田七郎兵衛(大町)

副団長

高橋久仁彦(大町)

本部付分団長

松尾芳明(松原)

〃

佐竹亮一(松程)

〃

浅岡清二郎(西町)

〃

長岡秀典(栄町)

〃

長岡秀昭(前田沢)

同副分団長

長岡和彦(太郎一)

〃

長岡啓一(大谷一)

第一分団長

高坂秀幸(大町)

同副分団長

安藤克幸(宇津野)

一の一部長

滝川芳巳(本町)

一の二部長

安孫子宏栄(前田沢)

一の三部長

大竹明英(大隅)

一の四部長

岡崎洋(下芦沢)

一の五部長

佐藤修(大滝)

第二分団長

阿部富士男(八ツ沼)

同副分団長

布施哲也(松程)

二の一部長

相座裕行(太郎二)

二の二部長

鈴木政広(松程)

二の三部長

田川栄樹(八ツ沼)

二の四部長

鈴木新一(常盤)

第三分団長

小林晴雄(大沼)

同副分団長

白井充(大谷六)

三の一部長

志藤幸次(大谷一)

三の二部長

白田幸男(大沼)

三の三部長

武田直樹(真中)

三の四部長

佐久間淳(栗木沢)

役場消防部長 鈴木勝(西船渡)

平成19年度の春季消防演習が4月15日、朝日中学校グラウンドを主会場に開催されました。地域のみなさん安心した日々の生活を送っていました。どうぞ、日頃の練習の成果を披露する消防団の年に1回の祭典です。



訓練、糸乱れ小隊、と、一緒に柴田団長の訓示のあつた。総勢370人の団員を前にした柴田団長の訓示のあと、一車両の自動ポンプによる模範操作法が披露されました。その後、場所を宮宿商店街に移し、かわいいハッピーキャラクターたちと一緒に、身にまとった保育園児による幼年防火クラブの放水訓練が行われました。実火災を想定した火災防



御訓練では、火災を告げる音とともに、町内の全車両隊が出動。緊張感あふれる雰囲気の中、一斉に放水が始まると、沿道に詰めかけた町民からは、盛んな声援が送られていました。



防災情報メール配信がスタート

光ファイバー網など地域情報化基盤整備事業の一環として整備された、防災情報メール配信システムが5月1日から稼動しています。

これは、町内で火災が発生した場合、メール配信を希望した消防団員に対し火災の種類や場所などを通知するもの。

メールを確認した団員は、出動計画に沿って出動することになります。今後、町では災害発生時の職員の動員、配備などをするための情報伝達や不審者の出没、防犯情報の伝達などにも利用していく考えです。



5/1の試験メール



町民と行政をつなぐパイプ役

町区長会春季定例会

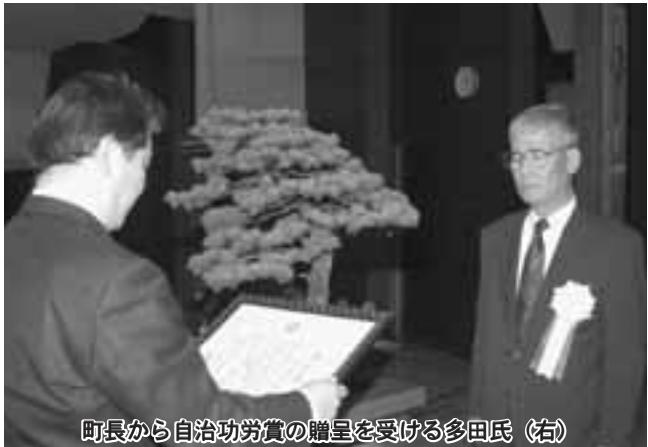
町内全55集落の区長さん方が一堂に
云十数丁会長会奉公主例会が4月5日

会する。町長会春季定例会が4月2日開発センターホールで開催されました

その中で、町区長会の会長として鈴木敬二氏（本町・中部地区会長）が、副会長として長岡稔氏（太郎二・西部地区会長）および渋谷一俊氏（大暮山・北区会長）および

部地区会長)が事前に開催された時、区長会評議員会において決定された旨の報告がなされました。

なお、監事に原喜内氏(大谷五)が新しく選出されたほか、今年度の事業計画や予算などについて審議が行われ



町長から自治功労賞の贈呈を受ける多田氏（右）

平成19年度の区長さんを紹介します

※世帯数は、平成19年4月1日現在のその区内に存する法人や会社等を含む数であり、お知らせ板等の通常の発送数です。

※緑文字は新規区長さんです。

■ 中部地区 [25区]

■西部地区【16区】

区名	氏名	世帯数
常盤	健一	102
夏草	美喜雄	55
長沼	悟基	19
西船渡	二昭吉	47
八ツ沼	一正利	42
能中	庄祐	38
高田	太郎	15
太郎一	雄一	53
太郎二	吉良	40
太郎三	信敏	25
石須部	太郎	12
立木	誠征	40
白倉	征友	10
松程	和幸	105
大船木	正	23
今平	阿	15

■ 北部地区【14区】

区名	氏名	世帯数
大谷一	白田 雄美	35
大谷二	畠俊美	38
大谷三	川村直美	39
大谷四	五十嵐政己	31
大谷五	原喜内	80
大谷六	白淑雄	44
大谷七	井恒浩	13
中 沢	野文雄	40
中 渡	小堀一郎	39
真 舟	堀文信	29
栗木沢	武堀義三郎	90
川 通	志藤正信	18
大暮山	志藤勝俊	35
大 沼	渋谷俊一	32

ました。

また、区長会終了後には自治功労等の表彰式が催され、この3月をもって退職された12人の方々が表彰を受けられました。受賞されたみなさんは、次の方々です。

●自治功勞賞贈呈者

●自治功劳賞贈呈者（6年以上在職
多田 賢司（栄町・12年
大正二年正月三日

内助の功

長岡藤田秀一（大谷一・4年）
堀田忠夫（大谷四・2年）
堀義雄（大谷五・4年）
安藤治郎吉（中沢・2年）
小林直喜（眞中・1年3カ月）
安藤政喜（眞中・9カ月）
多田廣（大沼・2年）
内助の功（町区長会長表彰）
前区長夫人
多田ヒテ子（栄町・多田賢司）

祝成人

平成19年 朝日町成人式

創ろう オラだの武勇伝!!



朝日町成人式

好天に恵まれた4月29日、朝日町の成人式が創遊館ホールで開催されました。今年晴れて成人を迎える人は、男性88人、女性59人の計147人。大型連休を利用して帰省した人も多く、全体の3分の2にあたる97人が出席しました。

まぶしいほどの衣装を身にまとった新成人たち。友人との久方ぶりの再会に胸を躍らせ写真を撮ったり、中学生の時にお世話になった先生方と当時のことを懐かしんだり様々。会場は、若さとパワーに満ちあふれていました。



祝成人

平成19年 朝日町成人式
劇ろう オラだの武勇伝!!





まちの話題



豊龍神社祭礼(5月3日／宮宿地内)



ハツ沼区植樹祭 コミュニティ助成事業(宝くじ助成)
(5月6日／春日沼周辺)



桜や紅葉137本を植栽

みんなで守り育てる景観づくりをめざした植樹祭に、43戸から地区民95人が参加しました。咲き誇る桜や赤く色づく紅葉の姿を思い描きながら1本1本を大切に植樹。地区のお年寄りは「今まで生きてきた中でこんなに多く人（地区民）が集まつたのははじめて」と感動した様子でした。

若者たちの勇壮な踊り

宮宿地区伝統の豊龍神社祭礼が5月3日に催されました。

本町の豊龍神社をスタートし、大神楽やお囃子行列が宮宿地内を練り歩くこのお祭り。20代の若者で結成された「アットホーム（峯田真人代表）」のメンバー15人による踊りも行列に加わり、お祭りを盛り上げました。

「踊りは自分たちで考えました！」と語る大井次郎さん（本町）。いろいろな本やビデオを見て研究し、囃子に合う踊りを独自にあみ出し、3月から10回以上練習したとか。

おそろいのハッピも用意し、気合十分で臨んだ今回。お囃子のリズムにあわせ、多くの若者が踊る姿はまさに勇壮。メンバーの鈴木秀和さん（西船渡）は「長い距離でとても疲れましたが、天気もよく、周囲の人々からも気を使っていただき、気持ちよく踊れました」と語ってくれました。

和合農村地域を守る会による花壇づくり (5月5日／和合アップルライン入口付近)



アップルライン入口を彩る花壇が完成

和合バイパス沿いの空地を利用して環境保全に努めようと、5月5日に和合農村地域を守る会（白田誠一会長）の皆さんのが花壇の整備に取り組みました。連休中にもかかわらず約80人が集まり、マリーゴールドやサルビアなどの苗約1,000株を丁寧に植栽。きれいな花壇が完成しました。

東北芸術工科大学『ノアの方舟展』（4月29日～5月12日／旧上郷小学校）

芸術は日常にあるもの

東北芸術工科大学の実験表現研究会による芸術作品展「ノアの方舟展」が、4月29日から5月12日にかけて旧上郷小で開催されました。

展示では旧約聖書の神話「ノアの方舟」を現代風に解釈し、近年破壊が進む環境問題や倫理観、



善と惡などについて、学生たちが絵画やオブジェなどいろいろな方法で表現しました。

また、5月6日

には同大学美術科助教授で同研究科会主宰する安部定氏が

「アートが町にやってくるって?!」と題し、日常生活における芸術の果たす役割について講演。

その後の意見交換では、過去に行なった様々な場所での展示を例に挙げ、「芸術は敷居の高いものではなく、日常にあるもの」と説明。参加した学生の一人は「芸術という言葉の響きに抵抗感を覚えるのではなく、芸術を通して新しい何かがはじまるきっかけになるよう、こういった活動をこれからも続けていきたい。」と語りました。



講演する安部氏

新入生に防犯ブザー贈る (4月20日／宮宿小学校)

地域を明るくする元気いっぱいの登下校を

児童の登下校時の安全確保のため、朝日町ロータリークラブ（鈴木敏夫代表）から町内の新1年生55人に防犯ブザーが贈呈されました。

これは同クラブの社会奉仕委員会が主催する事業で、防犯ブザーの贈呈は今年で2回目。



宮宿小児童への贈呈があったこの日。同委員長の小林達氏（朝日町立病院長）から贈呈を受けた後、新1年生は、担任の先生から使い方を熱心に聞いていました。

豊龍の丘ライトアップ花見会 (4月27日／豊龍の丘)



協働の証・豊龍の丘

地域の皆さんと行政が一緒に取り組んで完成した豊龍の丘。その桜のライトアップに合わせ、4月27日に花見会が行なわれました。

今年で3回目の開催となったこの日。少し肌寒い空模様に合わせ用意された熱燗と、見ごろを迎えた桜に、地区民ら約50人が酔いしれました。

山形県体育協会表彰

白田金次郎氏に感謝状

前町体育協会長の白田金次郎氏（大谷六）が、このほど財団法人山形県体育協会から感謝状の贈呈を受けられました。町体育協会の副会長職を6年、会長職を4年間にわたって務めるなど、町のスポーツの普及発展へ尽力された功績が称えられたものです。



受賞にあたり白田氏は、体育協会へ携わるきっかけとなった「居合道」について、自身のこれまでの歩みを語りながら、生涯にわたりスポーツに取り組むことの重要性を語りました。

第53回山形県縦断駅伝競走大会 (4月27日～29日／県内一円)

町内4選手の力走光る

春の出羽路に健脚を競う第53回山形県縦断駅伝競走大会が、4月27日から3日間の日程で開催され、町内から長岡輝喜（太郎一）、櫻井豊（大谷五）、鈴木智彦（杉山）、菅井拓人（大町）の4選手が出場しました。

中でも、今年成人式を迎えた本大会初出場の鈴木選手（写真右）は、全区間で最も長い狩川・古口間（19.2km）と最終区間の上山・山形間（14.2km）を力走。他選手もチームに大きく貢献する走りで沿道を沸かせました。



みんなのひろば



今輝いて

毎月2回、代表で先生を務める倉澤さんの作業場に集まる会員の皆さん。40代から70代までの7人が指導を受けています。みなさんに会の魅力をたずねると、口をそろえて言うのは「サロン（お茶飲み）風の楽しさ」。

「パッチワークでは、小さな布でもつなぎ合わせれば、大きな作品ができます。もともと布が貴重な時代には、小さな布を分けてもらって、子どもの着物などに仕上げたそうです。そう言った意味では、どんな小さな布でも大切にすることから始まっているんです」と語る代表の倉澤さん。また「パッチワークキルトの中でも古布を材料にした作品は独特の味わいがあって、人の心をひくものがあります」と加えました。

冗談を交じえながらも、次なるステップアップについて話す皆さんの笑顔が、会の雰囲気の良さを象徴していました。



NHK山形YYギャラリーにて



パッチワークとは三角や四角に切った布をつなぎ合わせて、変化に富む模様を作り出します。花水木の会は朝日町でこの手芸を取り組んでいるグループです。

幅広い年代の人々と一緒に活動しているため、話題も豊富で、手話を動かしている時間よりも、おしゃべりしている時間のほうが長いとか。

実はこの4月

25日から5月2日にかけてNHK山形放送局のYY（わいわい）ギャラリーで古布を使ったパッチワークの展示会を行なった同会。8日間の展示にもかかららず、来場者は650人にはのぼる盛況ぶりでした。



倉澤さんの作品「四季の最上川」

第29回朝日町長杯争奪剣道錬成大会

【4月29日／朝日町民体育館・朝日中体育馆】

()内の数字は参加チーム数、○数字は順位

▼小学生男子 (42)

①ましみず剣童会(天童市)②振武館(福島市)

▼小学生女子 (13)

①遷喬道場(鶴岡市)

②蚕桑剣道(白鷹町)

▼中学生男子 (68)

①山形三中②朝日中

▼中学生女子 (46)

①山形三中②朝日中



各種大会の成績

第24回豊龍神社祭典奉納柔道大会

【5月3日／朝日町民体育館】

()内の数字は参加チーム数、○数字は順位

▼小学生男子 (10) ①大和柔道(宮城)②中山柔道(中山町)③八木山柔道(宮城)④朝

日柔道スポ少

▼中学生男子 (15) ①高橋道場(山形市)②大和柔道(宮城)③中山中(中山町)④朝日中A

▼中学生女子 (5)

①大和柔道(宮城)

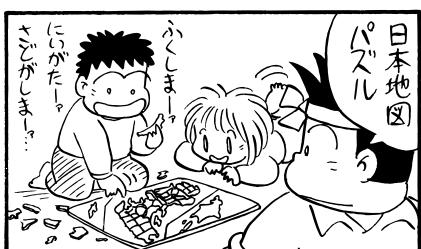
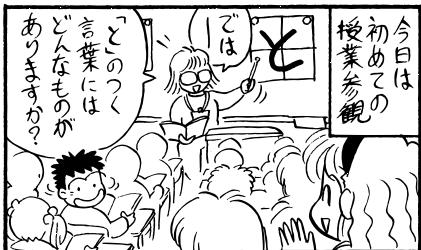
②高橋道場(山形市)

③神室柔道(新庄市)



となりのトトロさん

作・ホリイ (192)



大谷三
長岡 孝博さん
寛子さん
蘭ちゃん



埼玉県で陸上自衛隊として勤務していた孝博さんと北海道出身の寛子さんは、東京で出会い平成14年に結婚。その後の平成16年12月、蘭ちゃんの誕生を機に朝日町へリターンしました。

「子どもが生まれて、育児のことを考えたとき、東京での生活はちょっと…。」と寛子さん。都会の治安状態や夫婦だけでの子育てに不安を感じていたそうです。そんなとき、孝博さんが以前から考えていた朝日町への帰郷をついに決断。寛子さんも夫を尊重し、孝博さんについていくことを決めました。

しかし、この町での生活はまさにゼロからのスタート。「朝日町に来てはみたものの、当然のことですが最初はお互い無職。加えて友人・知人が全くいない異国之地。不安が無かったかといえばそれは嘘になります」と寛子さん。「でも子どもが生まれた以上、親としての責任を日々感じていました。自分たちの生活もそうですが、子どものためにがんばろう、と夫婦ともどもハローワークにはよく通いました」と言います。

幸い、夫婦ともに仕事には恵まれ、最近は生活にもだいぶ慣れてきた様子。「そろそろ2人目も欲しいかな…」と幸せな家族計画を胸に、孝博さんに目でサインを送る寛子さんでした。

その他の新刊

- ▼覚悟の人一小栗上野介忠順伝一（佐藤雅美） ▼わが人生の歌がたり（五木寛之）
- ▼となりの姉妹（長野まゆみ） ▼桂昌院 藤原宗子（竹田真砂子） ▼千年樹（荻原浩） ▼変身（嶽本野ばら） ▼朝日のようにさわやかに（恩田陸） ▼大きな熊が来る前に、おやすみ。（島本理生） ▼八日目の蝉（角田光代） ▼家計簿の中の昭和（澤地久枝） ▼月島慕情（浅田次郎） ▼自殺という病（佐々木信幸） ▼高松塚古墳は守れるか（毛利和雄） ▼大人は伝えているか？（鈴木一作） ▼家日和（奥田英朗） ▼まんまこと（畠中恵） ▼江戸の出版事情（内田啓一） ▼建てて、いい？（中島たい子） ▼エレガントな象一葭の髪から続々一（阿川弘之） ▼玻璃の天（北村薫） ▼ピアニシモ・ピアニシモ（辻仁成） ほか

2007年本屋大賞受賞
「一瞬の風になれ」
佐藤 多佳子著
サッカーに限界を感じた新二と、やる気のない天才スプリンター連。特に強豪でもない春野台高校陸上部に入部した幼なじみの2人。それがすべての始まりだった。思わず胸が熱くなるとびきりの陸上青春小説。

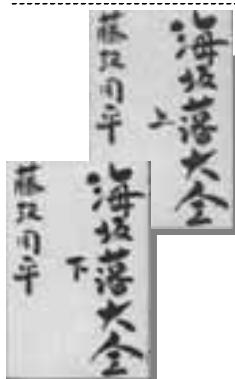


今月話題の本

「海坂藩大全 上下」

藤沢 周平著

藤沢作品の原点・海坂藩を舞台にした全短篇21作を集成した愛蔵版。上には、第69回直木賞を受賞した「暗殺の年輪」など10篇、下には、「梅薰る」「山桜」「花のあと」など11篇を収録。



町民の声

イベント時の機材 確認はしつかり



みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさん周りでの出来事や話題
日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)
- Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp
- URL／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>
- 携帯サイト／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>

問

2月25日に創遊館ホール
で開催された朝日町生涯

学習推進大会でのことです。
学校が製作したDVD「ふる

さとを見つめる」の上映を楽し
みにしていましたが、機材の不
良ということで音楽が流れず、途中で止められてしま
いました。その後再度上映し
ようとしたがうまくいかず、その際アナウンスで「こ
の次の機会に上映します」と
言っていました。

でも、この次とはいつ・ど
こででしょうか。小学生が棚
田のすばらしさを多くの人た
ちに知つてもらいたくて、一
生けんめい作ったDVDを上
映してもらいたかったです。一
楽しみにしていたので残念
でした。事前に機材をしっかりと
確認しておくべきでは。

【匿名】

はじめに、今回はこの
ような事態となり、西
五百川小学校の関係者をはじ
り

め町民の皆様に深くお詫び申
し上げます。
今回の件につきましては、
リハーサルの折には、音声も
映像も問題ありませんでした
が、本番では機材の接続に問
題があり、音声が出ないとい
う事態となってしまいました。
映像のみ上映し、内容をその
場のナレーションで説明する
という方法も考えられました
が、当日は映像作成に携わつ
た関係者も不在だったため、
やむなく中止とさせていただ
きました。

いた次第です。今回の件を深
く反省し、再発防止に努めて
まいりますので、ご理解のほど
よろしくお願ひいたします。
なお、文中の「この次の機
会」については、去る2月28
日（水）に創遊館ホールで行
われました『国民年金研修会』
の折に、みなさんに見ていた
ままでした。

【教育文化課】

この度は、誠に申し訳ござ
いませんでした。

町民体育館の床が新しくなりました



老朽化のため、3月22日から改修費861万円をかけ、床板の張替え作業を行なっていましたが、4月24日に無事完成。4月29日から一般利用が再開されています。

張替え後初めての利用という朝日中学校の阿部智恵さん(常盤)は、「新しい床は今までと違ってすべらないし、ギシギシ音もしないので練習しやすいです」と語り、男子生徒を相手に熱のこもった練習をこなしていました。



数多くのイベントが開催される創遊館



平成19年(2007年)
■4月1日~4月30日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	渡邊汎輝	男	忍・真由美
元町	稻村龍斗	男	康宏・美香
沼向	佐藤隼磨	男	聖・菜美



おしあわせに

阿部幸治 (大谷六)	高取枝里子 (大谷五)
清野祐一 (立木)	王淑娟 (中國)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
本町	佐竹きくゑ	邦雄
大船木宿	佐藤昭	吉範
	鈴木喜三郎	浩
本町	多田秀雄	孝雄
夏沼	阿部さくく	明人
向	菅井すん	俊國
大船木	佐藤金三郎	剛
真中	武田孝二	征一
宇津野	細谷勇輔	行廣
西船渡	若月直藏	俊秀
夏草	井澤兵太郎	壽一
宇津野	浅岡安吉	博幸

掲載を希望しない方は、届け出の際にお申し付けください。

人口と世帯数

●平成19年4月30日現在

人口 8,571人(減21人)
男 4,241人(減10人)
女 4,330人(減11人)
世帯数 2,545戸(増5戸)
()内 前月比

きょうの健康 あしたの健康

食改さんをご存じですか？？

朝日町には、地域の活性化を目指して、いくつもの団体がさまざまな分野で活動しています。そんな中でも、『健康づくり』を活動目標にしているのが食生活改善推進員さんです。(略して食改さん！！)

食改さん達は、『私たちの健康は私たちの手で』を合いことばに、地域に根ざした正しい食生活の普及を中心にボランティア活動をしています。

昨年はこんな活動をしました…



- 3ヶ月に1回位のペースで料理教室や研修会をしました。また、フランス料理なども作りました。



- 健康教室のお手伝いもお願いされ、参加しました。



- 東根市の陸上自衛隊神町駐屯地に、給食体験へ出かけました。

●募集●

そんな食改協議会への入会者を募集しています。

年会費は1,000円です。興味のある方は、健康福祉課 健康推進係 (☎67-2116)までご一報ください。

浮嶋稲荷神社で 神前結婚式

4月28日、大沼出身の小林博行さんと西町出身の洋子さん(旧姓布施)夫妻が、浮嶋稲荷神社で3年ぶりとなる結婚式を行いました。大沼の浮島にかかる、縁結びのかささぎ橋の両端から新郎新婦が歩み寄り、中央で手を取り合うという昔ながらの儀式も披露。二人にとつて格別の思い出となる結婚式となりました。



わたしの作品



「手作り布ぞうり」

齋藤 さだよさん（四ノ沢）



小さい頃から編み物などが得意だった齋藤さん。とにかく手先を動かすことが大好きで、1年中何かしらの作品を制作している毎日だと。そ

このぞうりは、雑誌に掲載されていたのをきっかけにして作り始めた。土台部分は、ビニールロープを芯にして、古い浴衣などの衣類や要らなくなつたのぼり旗などを素材にして編み、鼻緒部分は、包装用の紐や古いネクタイを編んで仕上げたものとのこと。

「手先を動かすこと。これが私の生きがいです。」と語る齋藤さん。「どの作品も簡単にはできませんが、大変だとか難しいとか思ったことは一度もありません。指先を動かすことでボケ防止にもなり、おかげさまで、まだまだ元気です。」と笑顔で語ってくれました。

春 夏 秋 冬

編集後記

平成15年に開催された国民文化祭での「浮島物語」の人民文劇。「神おわす沼」といふ副題のとおり、この土地の神秘性を実感した瞬間でした。人形劇の内容は、自分を見失いつつあつた主人公が、浮島に扮した妖精たちに支えられながら、前向きに生きようと決意するもの。島の物語の主人公のように、浮された二人のご加護のもと、これで明るい未来が約束されてしまう。（サツク）

ページに掲載している結果のため、久々に大沼式の取材のために、一度撮影場所である「かささぎ橋」を訪れたとき。構図の中に浮島が入ることを期待していましたが、そのときは全く見あたりませんでした。しかし、その約30分後、本番で何枚か写真を撮っていると、まるで故郷を大切に思う二人の門出を祝福するように、浮島が近づいてきました。このとき思い出したのが、



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。